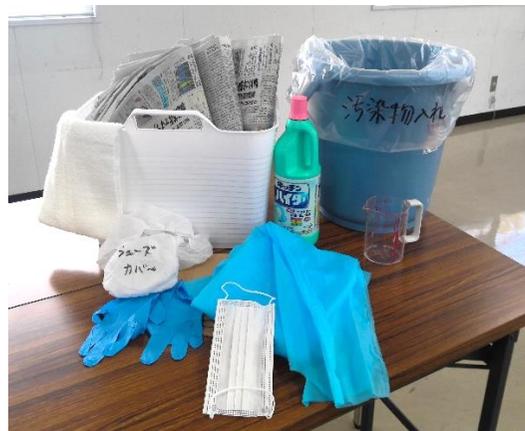


# 施設での嘔吐物処理（準備編）

## ① 平時からまとめて準備しておくもの

- 新聞紙(たくさん)、ペーパータオル
- ビニール袋大  
(液漏れしない密閉できる袋)
- 使い捨て手袋
- 長袖ガウン  
(ビニールエプロンでも可)
- サージカルマスク
- シューズカバー (あれば)
- 次亜塩素酸ナトリウム製剤  
(塩素系漂白剤)
- 希釈用の容器  
(計量カップ等)
- 作製後の消毒液を入れる容器  
(間口の広い容器やバケツ等)
- バケツ (あれば)  
(水拭き用、ゴミ箱用)



必要時、すぐに作業開始できるように  
ふた付きのバケツ等にまとめておく

「次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方」や  
「嘔吐物処理の方法」が  
わかるマニュアル等もいっしょに準備  
しておくといいでしょう。



## ② 処理を開始する前に

- 嘔吐物に触れている者（嘔吐者、周囲の利用者・入所者）に  
対し、手洗い、必要時着替えを促す。
- 窓を開ける等、作業する場所の換気を行う。
- 処理者以外の職員で、嘔吐物の周囲から、利用者・入所者等  
を離れた場所に誘導する。
- 0.1%濃度の次亜塩素酸ナトリウム消毒液を作製する。  
→次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方参照
- 個人防護具を着用する。



- 時計・指輪をはずす
- 腕まくりをする
- エプロンの裾がしゃがんだ時に  
床に着く場合には切る

- バケツにビニール袋を2重にかける。  
(袋の口は外側に折り込む)  
(ゴミ袋は複数準備しても OK)

